

## (1) 保存地区の概要

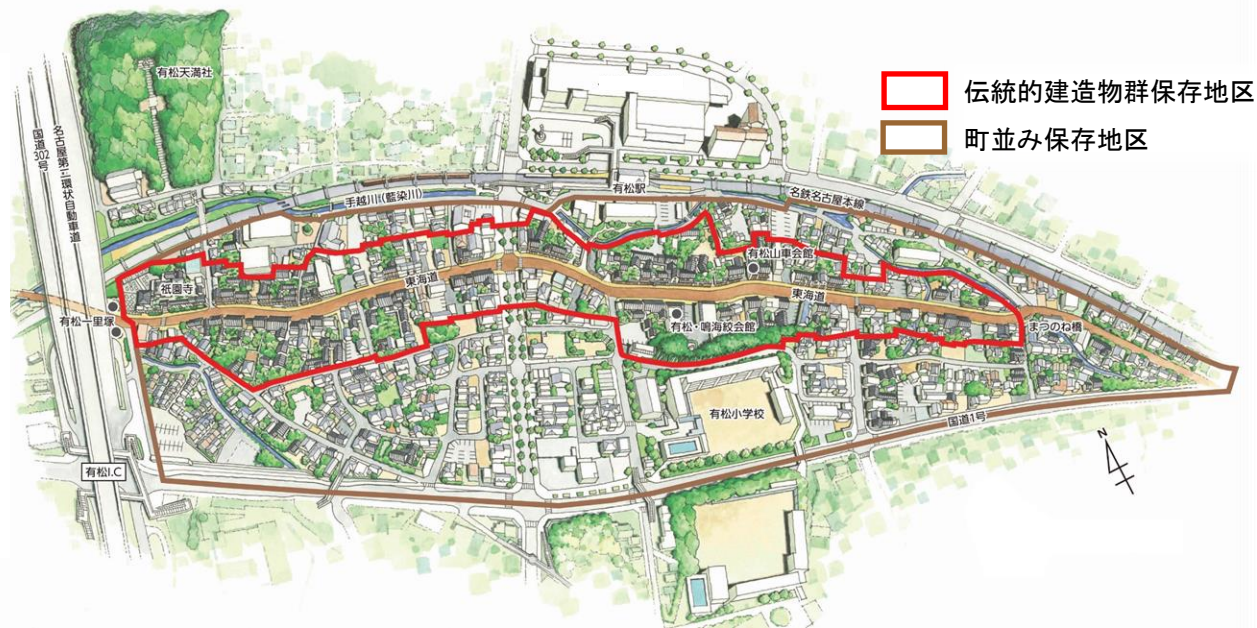
地区名	名古屋市有松
種別	染織町
面積	約7.3ha
選定年月日	平成28年7月25日

**特徴**

名古屋市有松伝統的建造物群保存地区は、慶長13年(1608)に東海道の鳴海宿と池鯉鮒(ちりゅう)宿の間に開かれ、東海道を往来する旅人の土産物として考案された有松絞りとともに発展したまちである。ゆるやかに曲がった東海道沿いに、広い間口を持つ絞商の主屋や土蔵、門・塀が数多く見られ、比較的ゆったりとした町並みが継承されている。



※現在の市域をもとに作成



## (2) 保存地区のあゆみ

昭和30年(1955)	「有松町民家調査」刊行
昭和48年(1973)	「有松まちづくりの会」発足
昭和49年(1974)	有松・妻籠・今井町による「町並み保存連盟」が有松で発足
昭和50年(1975)	「有松町並み調査報告」刊行
昭和53年(1978)	「第1回全国町並みゼミ」の開催(有松・足助)
昭和58年(1983)	「名古屋市町並み保存要綱」の策定
昭和59年(1984)	<b>「有松町並み保存地区」指定(3月)</b> 町並み保存地区修理・修景事業の開始
昭和63年(1988)	有松山車会館が開館
平成20年(2008)	東海道無電柱化事業(～平成24年度)
平成24年(2012)	有松伝統的建造物群保存対策調査の実施(～平成25年度)
平成28年(2016)	<b>『重要伝統的建造物群保存地区』選定(7月)</b>
平成29年(2017)	伝建地区修理・修景事業の開始 「第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会」の開催
令和元年(2019)	「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ～藍染が風にゆれる町 有松～」が日本遺産に認定
令和3年(2021)	名古屋市有松伝統的建造物群保存地区防災計画の策定

## (3) 保存地区の保存と整備

### 町並み案内看板の設置(H28年度)



### 修理修景事業(H29年度～)

令和元年度	4件	令和4年度	0件
令和2年度	2件	令和5年度	2件
令和3年度	4件		
累計(平成29年度～令和5年度) 17件			



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

### 市指定文化財岡家住宅の保存活用

伝統的建造物の公開施設、日本遺産ガイドス施設の整備に向けて、令和3年度に名古屋市が市指定文化財岡家住宅を取得。暫定的なガイドス施設として活用するとともに、令和4、5年度の2カ年で保存活用計画を策定。令和6、7年度の2か年で基本計画を策定し、今後の修理や活用の方針について検討していきます。



建物公開の様子

### 日本遺産の認定

有松には有松・鳴海絞り、歴史的な町並み、山車と祭り文化の3つの文化が根付いており、これらによって構成される有松の文化のさらなる磨き上げを図り、発信していくことで、国内や海外からの来訪者が有松へ訪れることを目指します。



日本遺産有松のホームページ



絞り体験の様子



絞り実演の様子

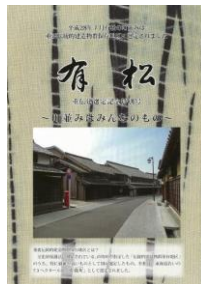
## (5) 住民等の取組

### まちづくり団体の活動

- ① 月1回の会合(40年以上継続)
- ② 町並みガイドの実施
- ③ 広報活動…HPによる紹介、会報の発行 等



町並みガイド



会報



HP

### 「有松町並み相談会」の開催

有松の歴史的町並み及び良好な住環境の維持・向上を図るため、地元住民・商工業者が主体となり、建築行為等を行う際の事前相談会(意見交換)を平成28年度より開催。



相談会の様子



### 行事の開催

#### ① 有松絞りまつり



…絞りの実演・体験・展示 等

#### ② 有松山車まつり(有松天満社秋季大祭)



…山車の曳行、からくりの実演 等

#### ③ 福よせ雛



…雛人形の展示 等